

本会は、社会福祉法に定められた地域福祉を推進する団体として、使命である「誰もが安心して笑顔で暮らす福祉のまち名古屋の実現」を果たすため、これまで取り組んできた地域福祉の推進に加え、多様な事業展開を図る本会及び区社協の総合力を活かして新たな社会的な課題の解決に向けた取り組みを進めています。

しかし、少子高齢化や単身化、地域・家庭のつながりの希薄化が進むとともに、社会的孤立や近年多発する災害への備えなど、地域の福祉課題は複雑かつ多様化しており、より深刻な状況となっております。

こうした中、誰もが地域で安心して暮らしていくためには、地域住民やボランティア、社会福祉法人等の福祉関係者、社会福祉協議会、行政等がより一層連携を強化して地域福祉活動を推進するとともに、分野ごとの縦割りや支え手・受け手の関係を超えて、より多くの皆様が参加するような取り組みを地域ぐるみで展開し、地域への関心を高めていくことがこれまで以上に重要になっています。

「なごやか地域福祉2020」は、このような地域福祉を取り巻く環境の変化等を踏まえ、「なごやか地域福祉2015」に引き続き、市の「地域福祉計画」と本会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定したものです。

本計画では、地域共生社会の実現を目指し、住民自身が地域の福祉課題を把握し、住民同士のつながりを活かした支えあいの活動により解決していく住民主体の地域福祉活動の推進とともに、住民だけでは解決が難しい課題や、いわゆる8050問題や社会的孤立、制度の狭間から生じる複合的かつ多様化した福祉課題に対応するための包括的な相談支援体制の構築に取り組んでいくこととしました。

また、地域福祉の実践活動を行う際のヒントとなるよう地域の多様でユニークな取り組みを「事例」という形で数多く掲載しています。本書をご覧になった皆様が、これらを参考に地域福祉に関心を寄せ、参加いただくことを期待しています。また、すでに地域福祉活動に携わっている皆様については、さらなるお力添えをお願い申し上げます。

最後になりますが、本計画策定にご尽力いただきました座長の長岩先生、小松先生はじめ策定懇談会委員の皆様、多方面からご意見をいただいた方々、アンケートや視察にご協力をいただいた皆様、策定幹事会・ワーキンググループに参加された関係各課の職員の皆様に心から感謝申し上げます。

令和2年3月

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会  
会 長 河 内 尚 明

